

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		今の子どもたちにとって必要なこと、季節など盛り込み工夫している 工夫し行っている 毎月、月案を立て季節に合った遊びや行事を計画している 月ごと、季節ごと、週ごとにいろいろな活動が行われるようにプログラムが立案されている 子どもの姿に合わせて前年度と違うプログラムにしていることもあり工夫している。内容の見直しができている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	6		「友だちと一緒に」の経験、「一人ひとり」の経験・成長に合わせている 個別・集団の活動どちらも大切にしながら支援計画が作成されている 個別と集団とどちらも取り入れている
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		朝礼で必ず確認 朝の打合せで明確にされ、伝達されている 朝礼でその日の予定、スタッフの動き等の確認をしている 毎朝、必ず朝礼を行い、情報共有している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		毎日ミーティングを行っている ミーティングで話し合いを行い、周知できている ミーティングで話し合っている 毎日ミーティングにて振り返り、共有ができている 毎日ミーティングを行い、その日の子どもへの支援について振り返りや子どもの変化や成長について共有している ミーティングで共有できている。問題があれば話し合いも行っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		その日の様子や支援について記録できている 記録に残している 細かな変化でも記録に残している
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		支援計画の達成度や課題、どのようにしたら達成できるかなどモニタリングを行っている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	担当者会議について知り得ておらず
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	2	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	5	該当児なし 該当事例がない
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	該当事例がないが就学を控えた対象児がいれば行っていく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	見学させてもらったり、電話連絡をしたりしている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5	コロナ渦で難しいが、保育所の園庭の外まで散歩し、声や様子を感じ取る機会をつくっている コロナのため外部との交流は難しい 散歩コースに組み入れるなどしている。コロナ渦で直接的な交流は困難 コロナ渦でもあり、活動を共にする機会はなかなか難しい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		連絡帳、登降園時に話すことで子どもの状況の共通理解となる努力をしている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3	どの程度の支援を行ってよいかどうかについては、支援しているが今後も課題ではあるように感じる
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		支援計画はしっかり開示し、説明し、同意サインを得ている

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	支援計画開示の時や必要な時に話し合いや支援をしている 適宜、相談に応じている その都度、悩み等については相談に応じているが定期的ではない
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	コロナ渦でまだ実施できていない 父母の会などの開催はないが、保護者同士の連携はとれている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		毎月1日に保育のおたよりを出し、行事や事業所で楽しんでいるわらべうたを見せて伝えたりしている 月だよりを発行して行事や活動の報告をしている 毎月発行している。行事予定もお知らせ板を利用している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	コロナ渦で実施できていない コロナ渦でもあり、困難 地域住民とのコミュニケーションについては課題であるとする
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1	保護者に周知するところまでできていない マニュアルについてはより分かりやすいものにするため検討し、修正中である
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		定期的と言えないが少しずつ行っている 訓練を行っている最中である
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4	食事は持参している 食事は弁当を持参して頂き、利用児の体調、状態に見合ったものを摂取している 食物アレルギーの子がいない 該当事例なし。また事業所で飲食する物を提供することはなく、すべて家庭から持参 現在、食物アレルギーをもつ児は在籍していない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		共有し、改善策を話し合いしている ミーティングで話し合い、改善策の検討をしている レポートを記入し、職員全員で話し合いを行い、共有している ミーティングで共有できている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		現在、勉強会を行っている最中である
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1	該当児はいないが、身体拘束についての話し合いはした 現在、マニュアル整備中である

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。